

1 活動名 性的マイノリティー（LGBT）の取組みについて 札幌市

2 調査の目的

(1) 本市における課題

本誌での LGBT 支援は、菅野谷市長と N 当事者との懇談を通し、理解の輪が広がりにつつあるも、例えば、男女共同参画や、子供の人権相談「こころの鈴」などの中に含んでの支援になっている感がある。周知啓発という観点を見ても、積極的な支援ということでは全国的に見ても松本市は、遅れていると考える。

(2) 調査の必要性

近年、LGBT の方々のカップルを自治体として認めようという動きが出てきている。その先進地を視察する必要性がある。

(3) 調査項目

パートナーシップ宣誓制度の取組みについて

3 調査地選定理由

(1) 札幌市

平成 29 年 6 月 1 日から、パートナーシップ宣誓制度を開始している。政令市では全国初であったことから、視察先に選定した。

4 調査結果

(1) 実施日 平成 30 年 8 月 7 日（火）

(2) 出席者 3 名 近藤晴彦 上條美智子 勝野智行

(3) 視察先 札幌市

(4) 成果・所感等

- ・パートナーシップ宣誓制度について（平成 29 年 6 月 1 日）
- ・性的マイノリティーに係る電話相談について（平成 29 年 6 月 1 日）
- ・LGBT フレンドリー指標制度について（平成 29 年 10 月 1 日）

パートナーシップ宣誓制度のほかに、電話相談、企業の取組み推進を図る支援もされており、とても参考になりました。札幌市では、LGBT 支援の要望が市民から出されたことも大きな前進の要因と。現在までに 48 組が宣誓をされているとのことでした。プライバシーに配慮し、当事者の希望など事前に丁寧にお聞きしているとのことでした。

松本市において、提案していきたいと思っています。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 千葉市と同様